

ていただいています。

個別活動は作業以外の日中活動で「表現する」ことを中心にねらいを設けて、音楽や作文など5つから6つの活動をそれぞれ1回～2回実施しています。それに加えて運動グループなど健康増進・ウェイトコントロールを目的とした活動や「べじたぶーる」=食育グループなど園の管理栄養士を中心に展開されます。

年数別活動(月1回程度)は1年目後半から2年目後半にかけて調理・買い物体験をする「KAUKAU(カウカウ)」という調理プログラム、3年目の利用者を対象にして東成育成園周辺のカフェでお食事&リラックスタイムを目的に「TAMU TAMU タイム(タムタムタイム)」、「ちょっと帰りに仲間とお茶でも」を実現させたいという声から生まれたリラックス&喫茶「TEA TIME(ティータイム)」といった取り組みもあります。

その他に月1回の行事と、月1回の希望者登園日など一ヶ月の予定は満載です。

<http://city-osaka-ikuseikai.or.jp/home/higashinari/>
ホームページでどうぞ!

*選ぶ…キーワード①

何故このようにメニューが豊富なのか。

私たちは、利用者の方にたくさんの経験・活動をしていただくことで一人ひとりの選択の幅を少しでも多くしたいという願いがありました。こちらからの提案のみならず利用者や保護者の方とのコミュニケーションを大切に、何が求められているのかを反映させ、個別支援計画を一人ひとりに作成していくうちに生まれた企画、活動も増えてきています。そして私たちができるかを常に考えようとしてきたことが今の東成育成園の形になったと思っています。

他にも「選ぶ」は活動や取組みの随所にあります。行事のおでかけ企画(プール、ちょっとおでかけ拡大版)では行き先を利用者の方に選んでもらうのを基本にしています。それに給食のセレクトメニュー、ハイキング給食など。

*参加する…キーワード②

「参加する」こともいろんな行事、取組みで見られます。例えば、運動会。利用者の方をプログラム企画班、応援グッズ作成班、応援団、選手宣誓班にグループ分けし、企画・準備の段階から参加してもらっています。こうして「自分たちで作る運動会」といった意識に働きか

けるようにしています。クリスマス会、ごくろうさん会など企画から参加してもらう行事は年々増えています。

*「自分らしく生きる」(自己実現)…キーワード③

来年度、いよいよ新体系への移行をしますが、どのような形をとるのかはしっかり議論を重ねたいと思っています。

制度や形態がいくら変わっても「自分らしく生きることへの支援」「自立に向けての支援」は変わることなく、私たちスタッフはしっかりと心に銘じておきたいと思っています。

利用者にとっても地域にとっても、求められる施設を目指し日々励んでいく所存です。

主任 松本 源太郎

<居宅介護事業>

3名のサービス提供責任者で、ヘルパー派遣を行っています。その活動の中でも特徴的な活動を2つご紹介します。

1つ目はハイキンググループ。日程、行き先を利用者・保護者同士で決めてもらい、月1回 ヘルパーと共にハイキングコースや初心者登山に出かけています。都会の雑踏を離れ、自然の中に。少しぐらい走っても、大きな声を上げて大丈夫。シーズン時にはすばらしい景観に心地よい風、草木の香り、小川のせせらぎに小鳥のさえずり、何よりも楽しみなお弁当と五感で自然を満喫しています。

もう1つは、本人活動。利用者同士が話し合っ月1回お出掛けしています。行き先は、施設や公園、カラオケにボウリングと行ってみたい事やしたい事と色々ですが 午後からは必ず来月の日にちと行き先の話し合い。時には意見が食い違ってもめる事もありますが、アドバイスをもらいながら白熱した話し合いをしています。

地域での暮らしを豊かで、いきいきとしたものに・・・と、サービス提供をしています。

居宅介護担当 瀬戸山 桂介

<相談支援事業・療育等支援事業「てくてく」>

主に東成区・城東区・生野区にお住まいの、障害をお持ちのご本人やご家族から福祉に関わる様々な問題について相談を受け、ご本人が自立した日常生活を送ることが出来るよう、必要な情報の提供や助言及び、その他の福祉

